

○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×
互いに	たがいに	的確(的中)	適確(適中)	賑やか(わう)	にぎやか(わう)	ひとまず	一先ず	まとめる	纏める	厄介	やっかい		
たかが知れる	高が知れる	できる	出来る	～(し)にくい	～(し)難い	一人、独り	ひとり	真似	まね	やはり	矢張り		
高をくくる	たかをくくる	手はず	手筈	二、三の	2、3の	ひとりでに	独りでに	麻痺	まひ	やまやま	山々		
たくさん	沢山	睨む	にらむ	にわかに	俄に	独り善がり	ひとりよがり	まま	併	やむをえない	已むを得ない		
巧みに	たくみに	と		抜きんでる	ぬきんでる	ひとわたり	一渡り	摩耗	磨耗	やや	稍々		
だし	出汁	問合せ先	問い合わせ先	ぬれぎぬ	濡れ衣	非難	批難	まもなく	間もなく	ややもすれば	動もすれば		
多少	たしょう	※新製品、インフォメーション欄		翻って	ひるがえって	農家人・農民	←百姓・農夫(禁)	丸ごと	まるごと	やる	遣る		
確かに	たしかに	当然	とうぜん	広がる	拡がる	廢爛	びらん	丸々	まるまる	※やり方、読んでやる			
たそれ	黄昏	とうてい	到底	鼙聲	ひんしゆく	まれ	稀	万(が)一	まん(が)いち	和らぐ	やわらぐ		
ただ	唯、只	とうとう	到頭	～(の)とおり	～(の)通り	真ん中(前)	まんなか	まん中(前)	まんなか	軟らかい(歯科材料)	柔らかい	い	
たたえる	称える、讃える	叩く		※図に示すとおり									
たたく	但し	〇通り	〇とおり	懇ろ	ねんごろ	ふ		み		憂うつ	憂鬱		
ただし	ただし書	※3通りの方法		年齢	年令	～風	～ふう	～み (接尾)	～味	優に	ゆうに		
○○たち(私たち)	○○達	と(に)かく	兎(に)角	時折	ときおり	※洋風、学者風		み～(接頭)	御～	悠久	ゆうゆう		
たちどころに	立ち所に	～(する)とき	～(する)時	ときたま	時たま	～(の)ふうに	～(の)風に	みみ	み代	故(名詞)	ゆえ		
たちまち	忽ち	ときどき(副)	時々	ときどき	ときどき	※こういうふう、知らないふうに		見いだす	見出す	※故あって、故なく、何故			
建前	建て前、たてまえ	例い		※時々の話題、その時々で変化する		孵化	ふ化	みぎり	砌	～ゆえ	故		
たとい	例え	たとえ(副)	例え	ときには	時に	俯瞰	俯観 ふかん	見事	みごと	※それゆえ、能力がゆえ、年齢ゆえ			
たとえば	例えば	例えば	例えば	途切れる	とぎれる	賦形	付形	みずから	自ら	ゆえに	故に		
例える	たとえる	※例えて言えば、例え話		後ほど	のちほど、後程	無様、無精、無粹	不様、不精、不粹	みずみずしい	瑞々(水々)しい	ゆえん	所以		
たび	度	養護学級	←特殊学級	のつる	則る	ふさわしい	相応しい	みだりに	妄(濫)りに	歪む	ゆがむ		
たびたび	度々	特に	とくに	延べ	のべ	不十分	不充分	道	路、途、徑	ゆく(いく)	行く		
多分	たぶん	どこ	何処	普通	普段	再び	ふたたび	見つける	見付ける	～(して)ゆく	～(して)行く		
食べ物	食物	とこしえ	常(長)しえ、永久	～(の)ぶり	ふつう	ふだん	普段	見どころ	見所	ゆくゆく	行く行く		
※食物は「しょくもつ」		ところ(抽象)	所、処	踏まえる(て)	ふまえる(て)	普通	ふつう	みなす	見做す、見なす	委ねる	ゆだねる		
たまたま	偶々	所(場所)	ところ、処	腐爛	腐乳	～(の)ふり	～(の)振り	見栄え	見ばえ、見映え	ゆるり	緩り		
たまる(プレーク)	溜まる	※遠い所、所変われば		～(の)ふり	～(の)振り	※実際に見る場合は漢字		見よう見まね	見様見真似	よ			
ため	為	ところが	所が	○振り(素、身、手)	○ぶり	見る、観る、診る	みる	(物事が)みられる	見られる	良い、善い	よい		
駄目	だめ	ところで	所で	～ぶり	～振り	～(して)みる	～(して)見る	※実際に見る場合は漢字		※頭が良い、操作性が良い			
だれ	誰	ところどころ	所々	奮って	ふるって	～(して)よい	～(の)様に	～よい	～良い	～～してよい、～のほうがよい			
垂れる	滴れる、たれる	閉じる、綴じる	とじる	振る舞い	ふるまい	～(の)よう	～(の)様に	～(の)よう	～(の)様に	ようやく	漸く		
炭疽	炭そ	途絶える	とだえる	ホームレス、路上生活者	←浮浪者(禁)	むしろ	寧ろ	余計	よけい	余計	よけい		
だんだん(副)	段々	途端	とたん	～久しおり、〇年ぶり		難しい	むずかしい	由	よし	良(善)し悪し	よしあし		
断トツ	ダントツ	とつさ	咄嗟	奮って	ふるって	無駄	むだ	良(善)し悪し	よしあし	よって	因って		
単に	たんに	突然	とつぜん	振る舞い	ふるまい	むなしい	空(虚)しい	旨	むね	呼ぶ	よぶ		
ち		整(調)える	ととの(齊)える	～久しおり、〇年ぶり		むやみ	無闇、無暗	むら	無理(やり)	よほど	余程		
知的障害者	←知恵遅れ・低能(禁)	とどめる	止める(留)	扁平	偏平	無論	むり(やり)	寄る辺	寄るべ	よりどころ	抛り所		
～(に)ちがいない	～(に)違いない	止めどなく	とめどなく	～(の)ほう	～(の)方	～め(長め)	～目	よろしく	宜しく	よろしく	宜しく		
違う	ちがう	○○ども	○○共	～(の)ほう	～(の)方	～目(二人目)	～め	ら					
※色が違う、違いがわかる		※可能なら「微生物」「細菌」等に		～(の)ほう	～(の)方	銘々	めいめい						
近々	ちかぢか	排泄	排せつ	～(の)ほう	～(の)方	メインテナンス	メンテナンス						
近づく	近付く	生き替わる(歯が)	生え変わる	～(の)ほう	～(の)方	m	メートル						
逐一	ちくいち	はがき	葉書、ハガキ	～(の)ほう	～(の)方	※SI接頭辞(μ, m, c, k等)をつける							
ちなみに	因む、因みに	はかどる	抄る	～(の)ほう	～(の)方	眼鏡	めがね						
認知症	←痴呆症	図らずも	はからずも	～(の)ほう	～(の)方	(を)めぐる(問題)	巡る						
註(脚註の場合)	注	計る、量る、測る	はかる	～(の)ほう	～(の)方	～回る、囲む意は漢字							
ちょうど	丁度	図る、諂ひる	はかる	～(の)ほう	～(の)方	目指す	めざす						
ちょっと	一寸	取りあえず	取りあえず	～(の)ほう	～(の)方	目覚ましい	めざましい						
沈殿	沈殿	とりえ	取り柄	～(の)ほう	～(の)方	召し上がる	めしあがる						
つ		とりわけ	取り分け	～(の)ほう	～(の)方	めちゃくちゃ	減茶苦荼						
次いで	ついで	取(採、摂、捕)る	とる	ほか	他、外	めったに	減多に						
ついでに	序でに	※歳を取る、睡眠を取る、食事を摂る		～(の)ほう	～(の)方	めど	目途、目処						
ついに	遂に	な		～(の)ほう	～(の)方	めまい	眩暈、目眩						
つかむ	掴む	ない(なし)	無い(無し)	～(の)ほう	～(の)方	めりはり	減り張り						
○○付き	つき	ないし	乃至	～(の)ほう	～(の)方	面倒	めんどう						
※尾頭付き、折り紙付き		内々	ないない	～(の)ほう	～(の)方								
～つき	～付き	※「うちうち」も漢字		～(の)ほう	～(の)方								
※目つき、顔つき、体つき		萎える	なえる	～(の)ほう	～(の)方								
次に	つぎに	なお	尚	～(の)ほう	～(の)方								
付く(接触の意)	つく	なおさら	尚更	～(の)ほう	～(の)方								
つく(抽象物が)	付く	～(の)直す	～(の)おす	～(の)ほう	～(の)方								
※実力、花、色、片、気)がつく		中(具象)	なか	～(の)ほう	～(の)方								
～つく(接尾)	～付く	～(の)直す	～(の)おす	～(の)ほう	～(の)方								
※がたつく、べたつく、ごたつく		なか(抽象)	中	～(の)ほう	～(の)方								
作(創、造)る	つくる	～(の)環境	状況のなか、三つのなかから	ひいては	延いては								
※抽象物の場合は仮名も可		なかでも	中でも	引き続き	ひきつづき								
～付け	～づけ	なかなか	中々、仲々	引く	ひ(曳、牽、惹)く								
※〇日付け、今日付け、日付		非常に	ひじょうに	ひたすら	只管、一向			</td					